



福岡県知事指定
特産民工芸品

令和7年12月15日

観光政策課
直 通：092-643-3454
内 線：3692、3698
担 当：永島、永津

「久留米綿入はんてん」を県知事指定特産工芸品に指定！

～福岡の冬を支える伝統工芸品。その魅力とは？～

福岡県では、県内で製造される郷土色豊かで、一定の伝統性を有する工芸品や民芸品を、県知事指定特産民工芸品として指定し、伝統工芸品産業の振興に取り組んでいます。

このたび、新たに「久留米綿入はんてん」(製造地：筑後市、久留米市、三潴郡大木町)を令和7年12月19日付けで県知事指定特産工芸品に指定します。

今回の指定に伴い、県知事指定特産工芸品は合計38品目となります。

また、12月18日に知事による発表会を開催し、「久留米綿入はんてん」の歴史や特徴的な作業工程について説明を行います。

1 日時

令和7年12月18日（木） 10：40～11：10

2 場所

福岡県庁8階 特別会議室

3 出席者

(1) 筑後染織協同組合

理事長	光延 みつのぶ	申二 しんじ	(株式会社ミツノブ)
	吉開 よしがい	ひとみ	(宮田織物株式会社)
	光延 みつのぶ	俊郎 としろう	(有限会社光延織物)
事務局長	中尾 なかお	英明 ひであき	

事務局長 中尾 英明

(2) 福岡県議会（地元選出議員）

議長	藏内 勇夫
議員	原口 劍生
議員	秋田 章二
議員	江口 善明
議員	新井 富美子
議員	井上 寛



久留米綿入はんてん

4 次第

- (1) 知事発表
- (2) 筑後染織協同組合 光延理事長挨拶
- (3) 地元選出議員代表 藏内議長挨拶
- (4) 筑後染織協同組合による久留米綿入はんてんの紹介
- (5) 質疑応答
- (6) 記念撮影

★次頁に久留米綿入はんてんの特長を記載しています！！

5 久留米綿入はんてん（くるめわたいれはんてん）とは

久留米綿入はんてんは、表地と裏地の間に綿を入れたもので、木綿わた独特の保温性を持つ衣服です。デザインに沿って裁断・縫製された布地に対し、二人一組が左右から同時に作業し、生地と生地の間にむらなく綿を入れる「綿入れ」や、中綿が偏らないよう、手作業で要所を縫い付ける「とじり」の工程が特徴です。

江戸時代から、庶民の防寒着として用いられ、1947年から、筑後地域の織元において本格的な生産が始まりました。

現在では、筑後染織協同組合に属する6事業者によって、久留米綿入はんてんの製造が行われています。

6 県知事指定特産民工芸品の指定要件

- ①主として日常生活の用に供されるものであること
- ②最終完成品であること
- ③製造過程の主要部分が手工業的であること
- ④伝統的技術または技法によって製造されるものであること
(原則として製造技術または技法が50年以上の歴史を有し、今日まで継続していること等)
- ⑤伝統的に使用されてきた原材料が主たる原材料として用いられ、製造されること
- ⑥福岡県内で製造されること
- ⑦経済産業大臣の指定を受けた伝統的工芸品でないこと

7 県知事指定特産民工芸品 指定品目：計38品目（二重線部分を新たに指定）

博多曲物、博多鉄、津屋崎人形、木うそ、博多張子、福岡積層工芸ガラス、博多独楽、孫次凧、八朔の馬、英彦山がらがら、籃胎漆器、きじ車、八女手漉和紙、八女石灯ろう、掛川、赤坂人形、鍋島緞通、八女竹細工、筑後和傘、八女和ごま、杷木五月節句幟、八女矢、城島鬼瓦、久留米おきあげ、大川総桐簾笥、大川彫刻、大川組子、柳川まり、棕櫚箒、八女すだれ、博多おきあげ、天然樟脳、今宿人形、芦屋釜、小倉織、高取焼、甘木絞り、久留米綿入はんてん

【参考】筑後染織協同組合について

筑後染織協同組合は、「先染め業者」の共同染色工場として昭和45年に設立し、久留米綿入はんてんの表地・裏地の染色整理及び風合い仕上げ加工のほか、その他産業資材としての綿・合纖糸の先染めや晒、総糸の特殊染色など、多岐にわたる染色や整理加工を行っている。



筑後染織協同組合HP

★ 報道機関の皆さんへ

発表会では、久留米綿入はんてんや筑後織製品を展示します。

久留米綿入はんてんについて

1 製造工程



2 久留米綿入はんてん

